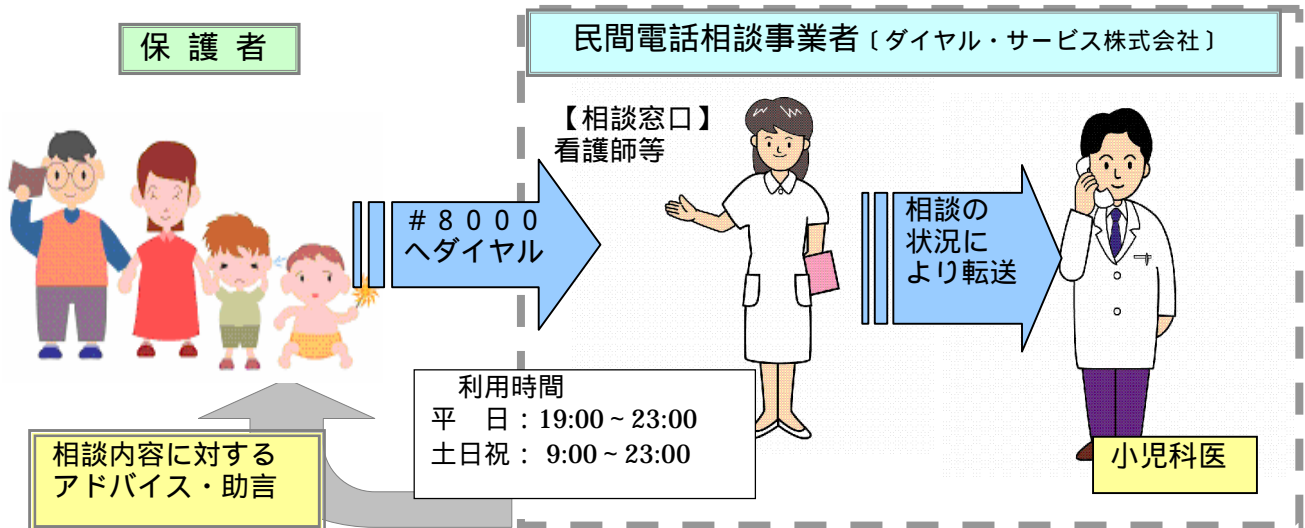


8000 (小児救急電話相談) の実施状況について

1. 事業の概要

子供の急病への対応等の小児医療に関する電話相談サービス（平成19年9月開始）

〔目的〕 子供の健康面で育児に不安を抱える保護者のサポート
休日夜間の小児初期救急患者の中核病院等への過度な集中の緩和



2. 相談実績

平成19年9月からの累計で4,563件の相談が寄せられた。

平成19年度(平成19年9月～平成20年3月) 572件 (平均 81件/月)

平成20年度(平成20年4月～平成21年3月) 1,410件 (平均 117件/月)

平成21年度(平成21年4月～平成22年3月) 2,007件 (平均 167件/月)

(単位:件)

平成22年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
175	243	156	-	-	-	-	-	-	-	-	-	574

3. 事業効果

県内の小児科専門医からは、相談事業者が行った助言について、適切であるとの評価をいただいている。

クレーム及びトラブル等の報告は、現時点では無く保護者の不安解消に役立っていると推測される。

相談内容は受診の要否についての判断を求めるケースが大半。救急病院の負担軽減に一定の効果があったと推測される。

4. 住民への広報・周知活動

広報用ポスターの配布 1,055カ所

(小児科標榜医療機関、保育所、幼稚園、小学校、子育て支援センター、市町村等)

広報用カードの配布 255,000枚 (H21年度 72,000枚増刷)

(小児科標榜医療機関、子育て支援センター、市町村〔母子手帳交付・乳幼児検診〕、こころ協賛店等)

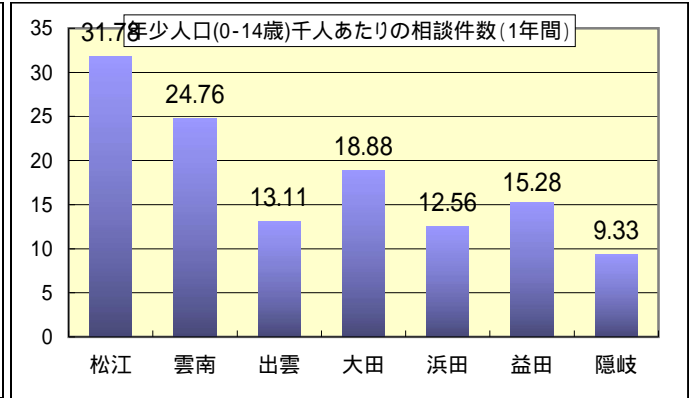
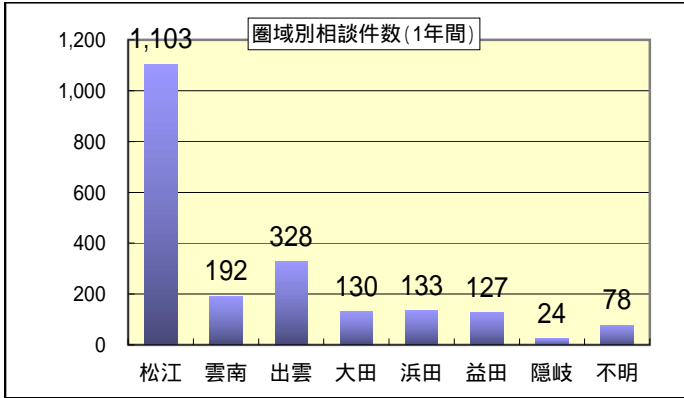
市町村広報への掲載

その他(県ホームページ、広報用テレビ・ラジオ番組、新聞・テレビへの情報提供)

【参考】

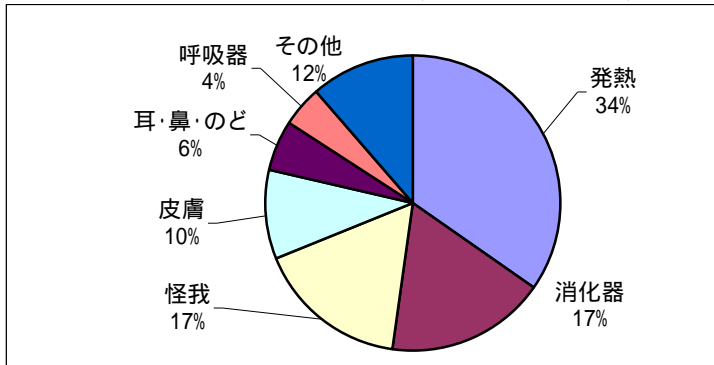
圏域別の相談状況（平成22年6月末までの1年間）

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	不明	計
相談件数	1,103	192	328	130	133	127	24	78	2,115
年少人口千人あたり相談件数	31.78	24.76	13.11	18.88	12.56	15.28	9.33	-	22.065



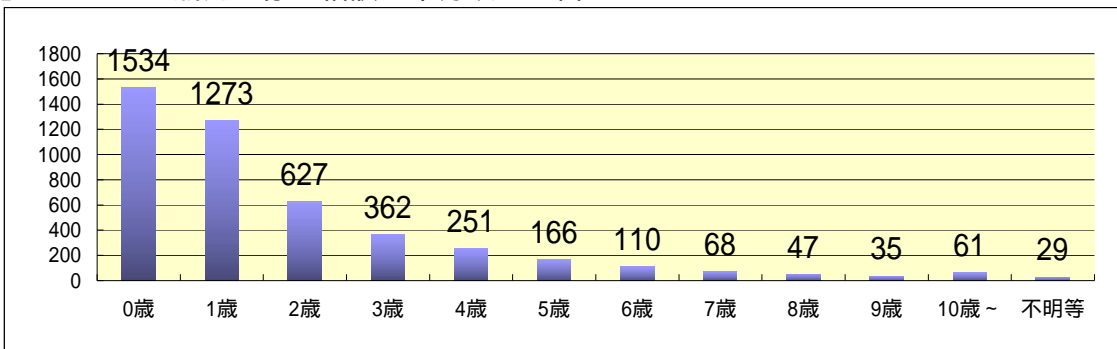
相談の内容について(症状別相談内訳)

【特徴】 ・発熱についての相談が多く、続いて消化器、怪我など。



相談の対象となる患者の年齢分布

【特徴】 ・0 - 1歳児に係る相談が半分以上を占める



時間帯別の相談状況

【特徴】 ・19 ~ 21時の相談多い(平日は19時から)。休日は9 ~ 10時も多い。

